

大津市長 越 直美様

平成 29 年 12 月 25 日
山中比叡平学区自治連合会
会長 持田 貞彦

支所機能存続のお願い

日頃は山中比叡平学区の発展のためご協力いただき、大変ありがとうございます。私たち山中比叡平学区自治連合会も地域の活性化と安心・安全な街づくりのため日々奮闘しています。全国的にも人口減少と少子高齢化が進んでいます。山中比叡平学区もこれに漏れず高齢化率は 40%に達しようとしています。地域活性化の最大の力は若者です。そのため魅力ある比叡平小学校づくりを進めています。具体的には地域の教育力を生かし山中太鼓の伝統文化の継承、学校裏の森を再整備し環境教育を進める、青い鳥の谷での学習支援、クラブへの専門家派遣等、小学校への支援活動を行っています。将来的には学力向上に向けての授業支援も考えています。

また、「ふれあいの森の活用」「山中比叡平の自然を生かしたまちづくり等」大津市に要望しております。

しかし、先日の大津市学区自治連合会の定例会におきまして「市民センター機能等の在り方について」が発表され、議会でも提案されております。この中で「山中比叡平支所」は、廃止とされています。

ご存知のように山中比叡平は「陸の孤島」と言われています。冬に雪が降れば下りることもできません。京阪バス大津京線の廃止も話題になっています。高齢者の中では車を運転して山を下りることも難しくなっています。

また、支所機能廃止は、何よりも若者を呼び込み地域の活性化と魅力ある小学校づくりを進めている私たち山中比叡平学区自治連合会の活動を大きく阻害するものです。

市長におかれましては、このような事情を考慮し山中比叡平支所を残していただくよう強く要望する次第です。

宜しくご配慮お願いいたします。